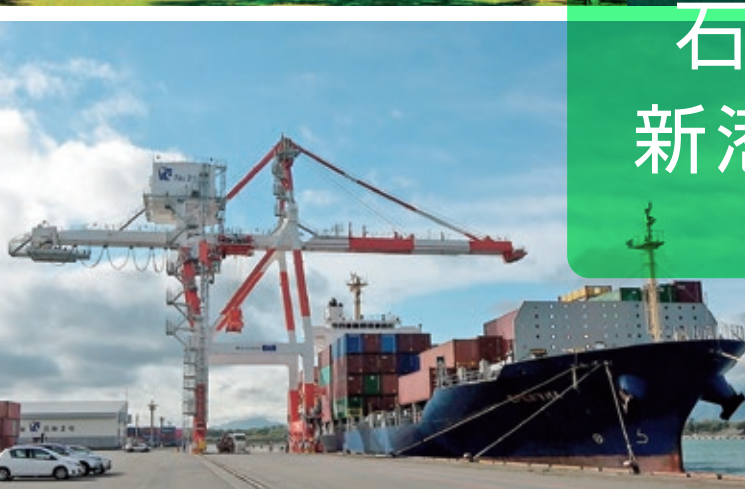


ISHIKARI BAY



札幌圏の産業拠点

石狩湾 新港地域



Industrial Center of the Sapporo Area

NEW PORT AREA

札幌に近い！

札幌都心から15km・30分の近さ！大規模産業拠点

進出企業は750社、就労者数は20,000人超。製造業・流通業など様々な企業が集積する札幌に最も近い国際貿易港を擁する約3,000haの国家プロジェクトエリアです。

韓国・中国・東南アジア・ロシア・欧州へ！

石狩湾新港地域



至 小樽

札幌駅から
新川通經由
30分

337

追分通

新川IC

石狩市役所

道央圏連絡道路

至 江別・千歳

札幌駅から
国道231号經由
30分

231

至 手稲・小樽

JR函館本線

札幌市中央卸売市場

市立札幌病院

北海道大学

札幌自動車道

札幌北IC

至 旭川・千歳・苫小牧

札幌駅から
新千歳空港まで
JR37分

JR札幌駅
(北海道新幹線2030年度開業予定)

北海道庁

至 旭川・千歳・苫小牧

企業進出をサポートする石狩開発株式会社

札幌圏最大の工業流通団地「石狩湾新港地域」は、札幌駅からわずか15kmの好位置にあり、札幌の海の玄関口となる国際貿易港・石狩湾新港を核とする総面積約3,000haの産業拠点です。また、国・北海道・小樽市・石狩市と第三セクターの当社が一体となって開発を進めているこの地域は、全体面積の約3分の1が緑地・公園となっており、「緑豊かなインダストリアルパーク」として、人と環境に配慮したゆとりある就業環境を実現しています。当社は、これまでに750社を超える企業の進出をサポートしてまいりましたが、この実績は進出企業の皆様の厚い信頼につながっております。国内有数の企業集積を誇り、札幌圏の産業拠点として着実に発展を続けている石狩湾新港地域への進出を心よりお待ちしております。

代表取締役社長 豊岡 孝章

札幌駅から 15km

札幌市内、道内各地への好アクセス

石狩湾新港地域は札幌駅まで15km、車で30分。札幌周辺都市へのアクセスが容易な、恵まれたロケーションにあります。

また地域高規格道路として整備が進む道央圏連絡道路(国道337号)は、石狩湾新港地域と新千歳空港を結び、道央自動車道、道東自動車道へのアクセスも容易です。

冬の輸送も安心

冬期間に100cm前後の積雪がある石狩を含めた札幌圏には北海道の人口の約5割(約250万人)が集中しています。世界的に見てこのような気象条件で大都市圏を形成していることは非常に稀と言われています。日常生活または事業活動において支障をきたさないよう、国、各自治体の道路管理者が除雪を行います。除雪車の出動体制は各道路管理者により異なりますが、石狩湾新港地域内の幹線道路は「10cmの降雪に達した等」の場合に出動することになっており、雪により交通が遮断されることはありません。



新川通の除雪状況



東京駅から15km圏内



この地図は、国土地理院発行の20万分の1地形図(東京)を使用したものである。

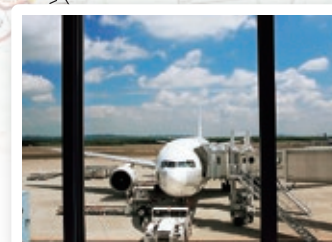
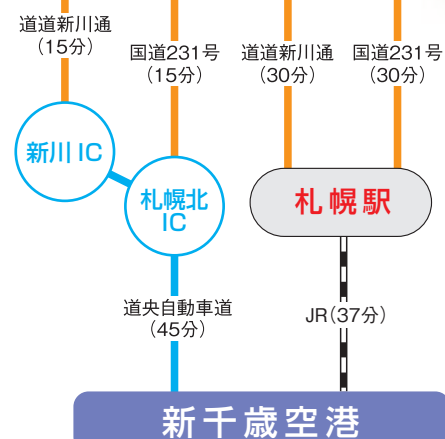
札幌駅から 15km圏内

新千歳空港→札幌北IC
(道央自動車道)
45分



道央自動車道

石狩湾新港地域



新千歳空港

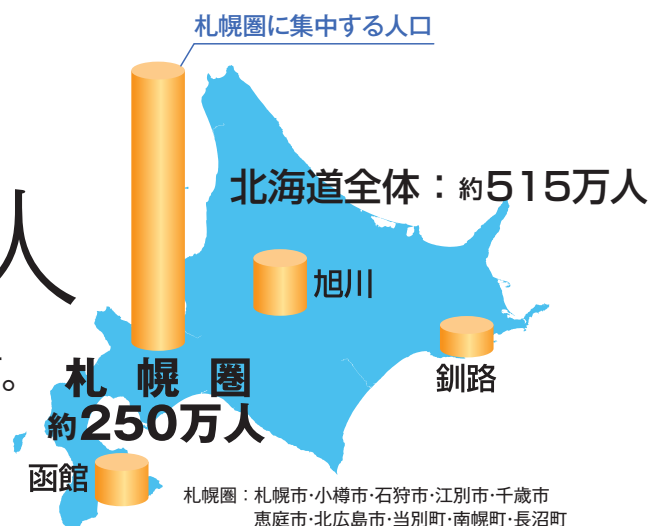
この地図は、国土地理院発行の20万分の1地形図(札幌・苫小牧・岩内)を使用したものである。

札幌圏の人口

約250万人

札幌圏への人口集積が加速しています。

北海道内では、札幌市を中心とした道央圏への人口の流入が年々増えており、札幌圏への一極集中が進んでおります。また、公営や民間による大規模な住宅団地が周辺に広がっており、主婦層を中心としたパート労働者の確保にも最適な条件を備えています。



札幌駅周辺風景



さっぽろ大通ビアガーデン



札幌市営地下鉄

変化ある四季

北海道は春の桜の開花に始まり、澄んだ夏の青空、秋の紅葉、冬の白銀の景色へと四季の変化に富んでいます。とりわけ札幌圏では、夏のさっぽろ大通公園で開催される、「さっぽろ大通ビアガーデン」、石狩では恒例イベントとなった「ライジングサンロックフェスティバル」、秋は「さっぽろオータムフェスト」、冬は「さっぽろ雪まつり」と季節ごとにイベントがあり、市民・観光客で賑わいます。

居住環境抜群

札幌圏には、通勤時間30分～1時間以内の距離で、戸建て住宅や集合住宅が比較的安価な価格帯で取得できる環境があります。充実した住宅事情に加え、ゴルフ場・キャンプ場・スキー場・ショッピングセンターなどの施設も近くにあり、充実した余暇を満喫できます。



ライジングサンロックフェスティバル



すすきの交差点



さっぽろ雪まつり



石狩湾新港地域内(新港西3丁目)

札幌圏の労働力人口

約115万人

2020年国勢調査



優秀な人材、豊富な労働力

北海道には北海道大学など37校の大学や短大、220を超える専修・各種専門学校のほか、工業系高校や職業能力大学校、さらには試験研究機関や研究開発施設が集中しており充実した人材育成環境が整っています。



北大・北キャンパスに集積する試験研究機関



北海道大学工学部

北海道での新規学卒者は、約7万人で、そのうち約2万4千人が道内で就職しています。卒業生は地元道内での就職志向が強く、新港地域では札幌圏はもとより道内各地からの人材確保が可能です。

(単位:人)

2022年3月末	卒業	就職者	道内	道内比率
高 校	39,976	8,929	8,440	94.5%
専修学校	8,043	6,697	5,650	84.3%
高等専門学校	635	360	109	30.2%
短 大	2,049	1,398	1,322	94.5%
大 学	19,817	14,305	8,494	59.3%
計	70,520	31,689	24,015	75.8%

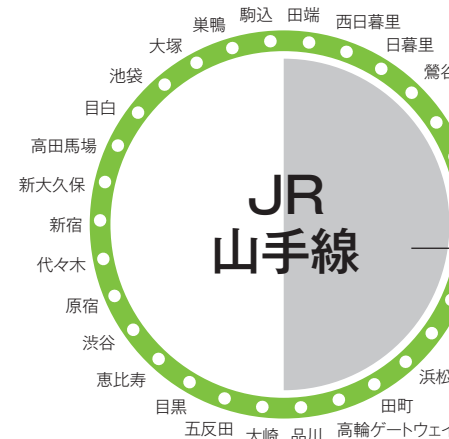
(出典:北海道労働局)



北海道科学大学

面積 3,000ha

緑豊かなインダストリアルパーク



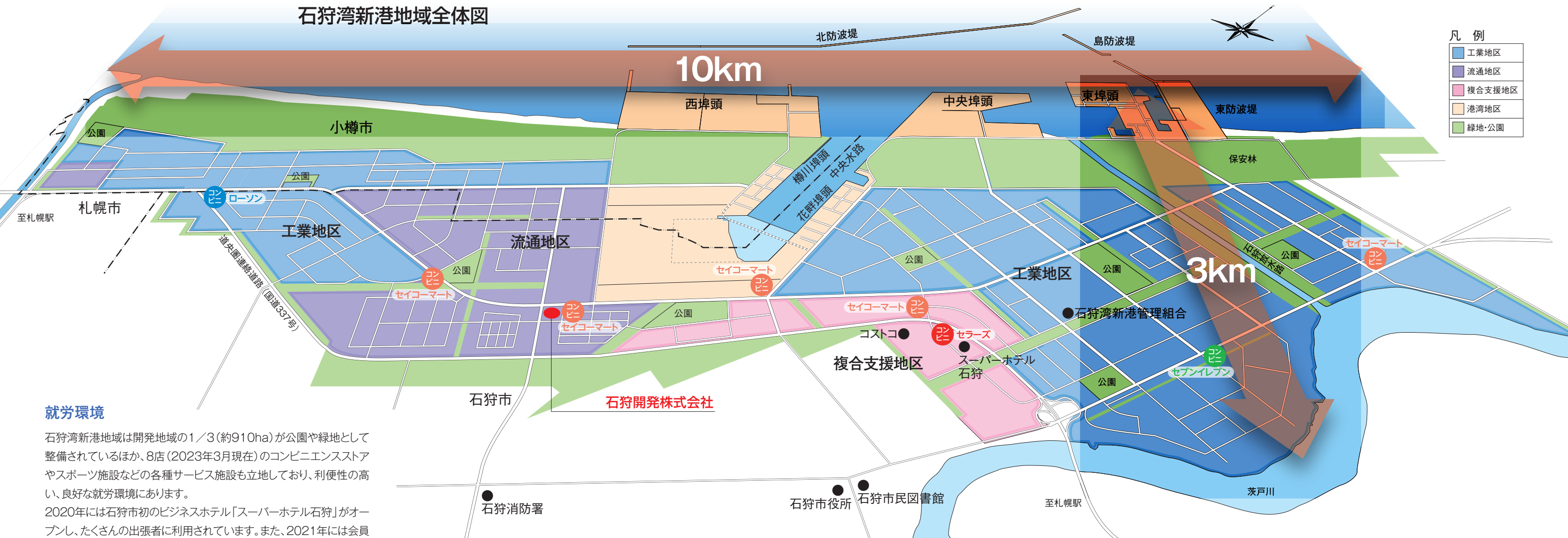
面積3,000haは
JR山手線内側の
約半分の広さです。
※JR山手線内側の面積は
6,300～6,500ha相当

開発計画面積 (2023年4月現在) (単位:ha)

区 分	業 務 用 地	緑 地・道 路	計
工 業 地 区	840	200	1,040
流 通 地 区	263	60	323
複 合 支 援 地 区	107	26	133
港 湾 地 区	208	268	476
共 通 地 区	7	1,043	1,050
計	1,425	1,597	3,022

全体面積: 約3,000ha
(東西: 約10km、南北: 約3km)

石狩湾新港地域全体図



就労環境

石狩湾新港地域は開発地域の1/3(約910ha)が公園や緑地として整備されているほか、8店(2023年3月現在)のコンビニエンスストアやスポーツ施設などの各種サービス施設も立地しており、利便性の高い、良好な就労環境にあります。

2020年には石狩市初のビジネスホテル「スーパーホテル石狩」がオープンし、たくさんの出張者に利用されています。また、2021年には会員制倉庫型卸売・小売店舗の「コストコホールセール石狩倉庫店」もオープンし、石狩湾新港地域の新たな交流拠点として賑わいを見せています。



青葉公園(新港南3丁目)



スーパーホテル石狩

道路

地域内には、幅員30～55mの都市計画道路と幅員12～25mの区画道路が縦横に計画され、既に約80%が整備済です。また、札幌中心部に直結する国道231号と道道新川通が共に6車線で整備済です。さらに、新千歳空港に直結する道央圏連絡道路(国道337号)が、地域高規格道路として計画され、新港地域側は既に開通しています。



小樽石狩線(道道225号)

充実した基盤整備

上水道・下水道、工業用水道が利用でき、高圧電力が利用可能な他、都市ガスの整備も進んでいます。さらに、光ファイバーのサービス供給地域となっており、快適な通信環境が実現できます。また、大型車、トレーラー車がゆったりと通行可能な幅員を有する都市計画道路、区画道路が縦横に整備されています。さらに、産業廃棄物は、すべて地域内処理できる体制が整っています。



石狩湾浄化センター

札幌に1番近い 国際貿易港・石狩湾新港

石狩湾新港は、札幌圏の海の玄関として整備が進められている重要港湾です。1982年の第一船入港以来取扱貨物量が年々増加し、1994年には関税法に基づく国際貿易港となり、現在では輸出入貿易額、外貿コンテナ取扱個数では道内2位の港湾となっています。

また、2012年には北海道最大のLNG輸入基地が稼働し、札幌圏を中心とする北海道の物流とエネルギーを支える重要拠点となっています。



石狩湾新港全景



韓国・中国と直結 ～世界へ広がるネットワーク

1997年にアジアを代表するハブ港である韓国釜山港との間で外貿定期コンテナ航路が開設されました。以来釜山港を経由して韓国はもとより、中国・東南アジア・北米・欧州・オセアニアとの輸出入貨物が順調に増加しています。

さらに、2006年には「水深14m岸壁」を備えた西埠頭が供用開始され、5万トン級の大型船舶の入港が可能になるなど、札幌圏の国際貿易港として一層の機能充実が図られています。



コンテナ船



ガントリークレーン



荷出し風景



バルク船

北海道のエネルギーを支える重要拠点

石狩湾新港は札幌市に最も近い港湾であることから、北海道の冬の生活には欠かせない灯油・軽油・ガソリン等の石油製品及び液化天然ガス（LNG）の受け入れ、供給基地になっています。また、近年、風力・バイオマス・太陽光発電等、再生可能エネルギーによる発電施設の建設が進んでおり、今や港湾を利用した北海道を支えるエネルギー供給基地となっています。



LNGタンカー



石狩新港バイオマス発電所

北海道電力(株)石狩湾新港発電所

北海道における将来的な電力の安定供給に向け、北海道電力(株)は発電効率が高く、環境特性に優れたLNGを燃料とするコンバインドサイクル発電方式の火力発電所を石狩湾新港西地区において建設することとし、2015年に1号機(56.94万kw)の建設工事に着手し、2019年2月から営業運転を開始しました。将来的には3号機まで(総出力170.82万kw)の建設を計画しています。



現況図 2022年12月(現在)



石狩湾新港発電所完成イメージ

石狩LNG基地

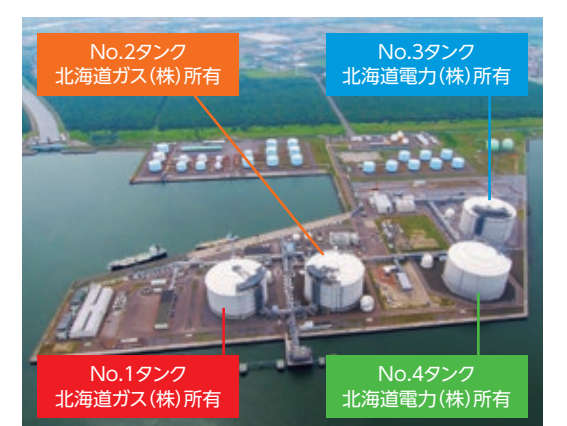
石狩LNG基地は北日本最大のLNG基地です。現在、都市ガス原料用の1号タンク(18万KL)と2号タンク(20万KL)、及び火力発電所燃料用の3号タンク(23万KL)と4号タンク(23万KL)の計4基(計84万KL)が稼働しています。LNGはサハリンやオーストラリア等から輸入・貯蔵し、都市ガスとしてパイプラインを通じて道央圏へ供給している他、ローリー車や専用タンカー(内航船)により道内各地のガス事業者やサテライト供給先へ出荷されています。



LNGタンク



接岸風景



札幌圏を中心とした北海道経済の中枢を支える 石狩湾新港地域は可能性に満ち溢れた先進の産業ステージです。

石狩湾新港地域のあゆみ

西 暦	年 次	事 項
1871年 ～ 1910年	明治年間	ファンゲント、C・Sメーク、岡崎文吉、広井勇らにより、石狩湾に新たな港湾を建設するという構想が立てられる。
1964年	昭和39年	石狩開発(株)設立
1965年	40年	石狩工業団地(新港南1丁目)造成開始
1970年	45年	「第3期北海道総合開発計画」が閣議決定され新港地域の開発が決定
1972年	47年	石狩開発(株)が第三セクターとして組織変更「石狩湾新港地域開発基本計画」が決定
1973年	48年	港湾工事に着手 重要港湾に指定
1976年	51年	工業用地造成開始
1978年	53年	工業用地分譲開始
1982年	57年	東埠頭供用開始 第一船入港
1988年	63年	中央水路掘り込み 花畔埠頭供用開始
1994年	平成 6年	関税法の指定を受け国際港湾として開港
1997年	9年	韓国釜山港との間で外貿コンテナ航路開設
1999年	11年	植物防疫法に基づく植物防疫港に指定
2000年	12年	家畜伝染病予防法に基づく動物検疫港に指定
2003年	15年	国土交通省よりリサイクルボートの指定
2006年	18年	西埠頭(水深14m岸壁)供用開始
2010年	22年	国土交通省より重点港湾に選定
2011年	23年	国土交通省より日本海側拠点港に選定
2012年	24年	北海道ガス(株)石狩LNG基地稼働開始、 LNG船第一船入港
2015年	27年	北海道電力(株)石狩湾新港発電所 1号機工事着工
2019年	31年	北海道電力(株)石狩湾新港発電所 営業運転開始
2020年	令和 2年	「スーパーホテル石狩」オープン
2021年	3年	「コストコホールセール石狩倉庫店」オープン

石狩開発株式会社の概要

所在地	北海道石狩市新港西1丁目721番地11 石狩新港卸センター組合会館2階 TEL 0133-72-2255 FAX 0133-72-4055		
代表者	代表取締役社長 豊岡 孝章		
設 立	昭和39年12月		
資本金	3,300万円		
株 主	北海道	33.3%	
	(株)日本政策投資銀行	31.1%	
	石狩市	0.1%	
	民間金融機関ほか	35.5%	
事業内容	第三セクターとして、国・北海道・関係自治体等と一体となつて石狩湾新港地域の開発を進めており、工業・流通用地等の取得・造成、および企業への用地分譲・賃貸ならびに開発に関連する諸事業を実施しております。		

石狩開発株式会社

ISHIKARI DEVELOPMENT CO.,LTD

<https://www.ishikari-dev.co.jp>

TEL : 0133-72-2255

〒061-3241 北海道石狩市新港西1丁目721-11 石狩新港卸センター組合会館2階

FAX : 0133-72-4055 E-mail : kikaku@ishikari-dev.co.jp

721-11, Shinko Nishi 1-chome, Ishikari City, Hokkaido 061-3241 Japan

